

～“妖怪先進県”岩手・鳥取・徳島への誘い～

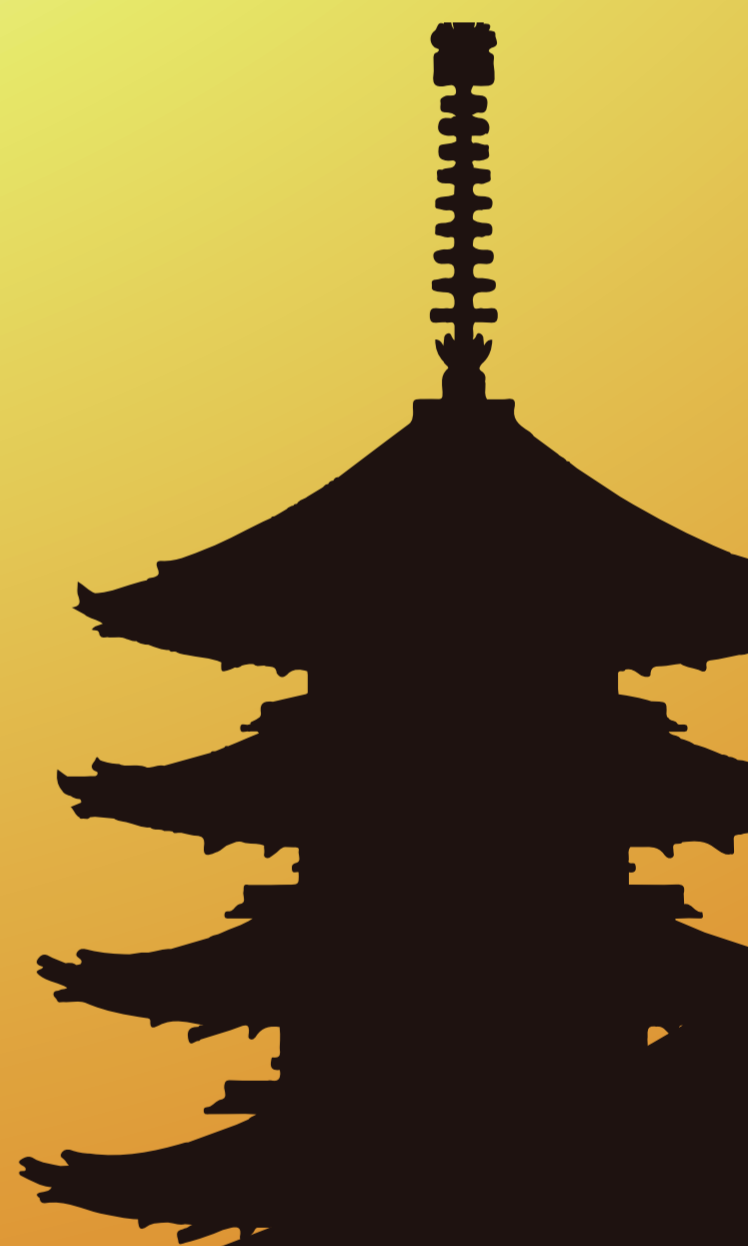


# フォーラム 2019 in 京都

2019年 1月26日[土]・1月27日[日]

会場: 京都国際マンガミュージアム

京都府京都市中京区烏丸通御池上ル(元龍池小学校)



[www.kwaiforum.com](http://www.kwaiforum.com)

主催/岩手県・鳥取県・徳島県(怪フォーラム実行委員会) 共催/京都国際マンガミュージアム 企画協力/株式会社KADOKAWA

お問い合わせ先/岩手県文化スポーツ部文化振興課(怪フォーラム実行委員会事務局) TEL. 019-629-6286

# 怪フォーラムとは

世界妖怪協会(水木しげる永久会長)が妖怪文化の普及に貢献した地域として認定した「怪遺産」を有する岩手、鳥取、徳島の3県が、地域活性化の推進や観光誘客を図ることを目的として実施しています。今年は、世界の文化首都・京都で日本の妖怪文化を世界に発信します。



## イベント内容

1月26日[土]

10:30 開会行事

11:00 お化け大学校特別講座

小松和彦、京極夏彦、多田克己、村上健司ら  
「化け大」講師陣による妖怪トークイベント

15:00~16:30 妖怪大談義

※要事前申し込み

岩手・鳥取・徳島の3県知事が、各地域の妖怪文化の魅力について語り尽くす。「化け大」講師陣も登壇!



1月26日[土]・1月27日[日] 両日開催

■3県怪遺産の紹介・展示・実演

【岩手県】語り部による遠野の昔話の実演

【鳥取県】紙芝居「鬼太郎対カラス天狗」の上演

アニメ「ゲゲゲの鬼太郎(第6期)」第17話「蟹坊主と古の謎」の上映

【徳島県】山城・大歩危妖怪村による人形劇と妖怪紙芝居の上演

■3県観光PR、物産販売ブース、特産品おふるまい

【岩手県】ひつつみ

【鳥取県】カニ汁

【徳島県】そばミネストローネ

■狐面絵付体験

(京都国際マンガミュージアム主催事業)



同時開催イベント

1月27日[日]

14:00~17:30 節分おばけ仮装百鬼夜行

(京都国際マンガミュージアム主催事業)

「日本各地から、妖怪たちが大集合! みなさんも妖怪になってパレードに参加しませんか?」

妖怪に仮装し、京都国際マンガミュージアムから二条城までの間を行進。二条城では写真撮影会も。京都国際マンガミュージアムに戻った後に表彰式を実施します。

※詳細は京都国際マンガミュージアム公式ページをご覧ください。



www.kyotomm.jp

### 参加方法

■「怪フォーラム 2019 in 京都」への参加には、京都国際マンガミュージアムへの入館料が必要です。

■「妖怪大談義」の観覧には事前申し込みが必要です。申し込み多数の場合、抽選のうえ、ご当選者に「妖怪大談義」の入場券をお送りします。

※ご当選者は京都国際マンガミュージアムへの入館料は必要ありません。

※2019年1月3日応募締め切り。

※お申し込みなどの詳細については、怪フォーラムホームページをご覧ください。

www.kwaiforum.com

携帯・スマホはコチラから→



# 世界に誇る 日本の怪遺産

## 怪遺産とは

「世界妖怪協会」(水木しげる永久会長)が妖怪文化の普及に貢献した自然、文化、地域などを対象に認定しています。

これまでに鳥取県境港市(2007年)、徳島県三好市(2008年)、岩手県遠野市(2010年)の3地域が認定されました。

世にも稀な「怪」の称号を授かる3地域は妖怪や伝承を世界に向けて発信しています。



## 岩手県 遠野市



「カッパ」「ザシキワラシ」など数々の妖怪伝承を擁し、柳田國男が著した「遠野物語」の舞台ともなった遠野は、古き先人の営みを今日に伝え「日本のふるさと」として怪異・妖怪文化の普及に貢献したことを評価され、2010年、世界妖怪協会から「遠野物語」発刊100周年に際し、世界で3箇所目の「怪遺産」として認定を受けました。遠野は今後も「目に見えない世界」のさらなる発展をめざします。



## 鳥取県 境港市



水木しげる先生のふるさと鳥取県境港市。JR境港駅前から水木しげる記念館に至る800メートルの沿道に妖怪ブロンズ像177体が並ぶほか、列車やバス、マンホールにまで妖怪があらわれています。毎年200万人以上の観光客が訪れ、全国の妖怪ファンを魅了する聖地となっています。境港市は2007年、「怪遺産」の第1号として認定されました。



©水木プロダクション

## 徳島県 三好市



三好市山城町は、大歩危・小歩危や塩塚高原などで知られる四国山地の険しい秘境であり、数多くの妖怪伝承が残る地域です。この地の妖怪伝承は、厳しい自然の中での暮らしにおいて、人々が危険な場所に近づかないように、事故や事件から身を守る知恵として語り継がれてきました。このようなことや、「妖怪まつり」の開催など地元住民による妖怪を題材とした地域活性化の取り組みが認められ、2008年に世界妖怪協会より「怪遺産」に認定されました。



©水木プロダクション